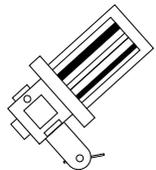


江波山気象館気象観測装置めぐりマップ

どんな器械・場所でお天気をしらべているのかな？

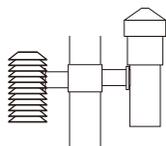
問題1 地図のなかのA～Eの場所には、どんな観測装置があるでしょうか。左の絵の中から探しましょう。



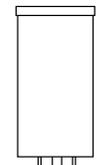
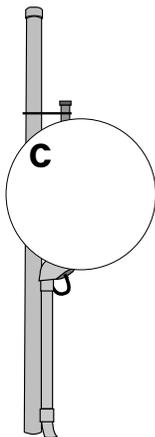
日照計



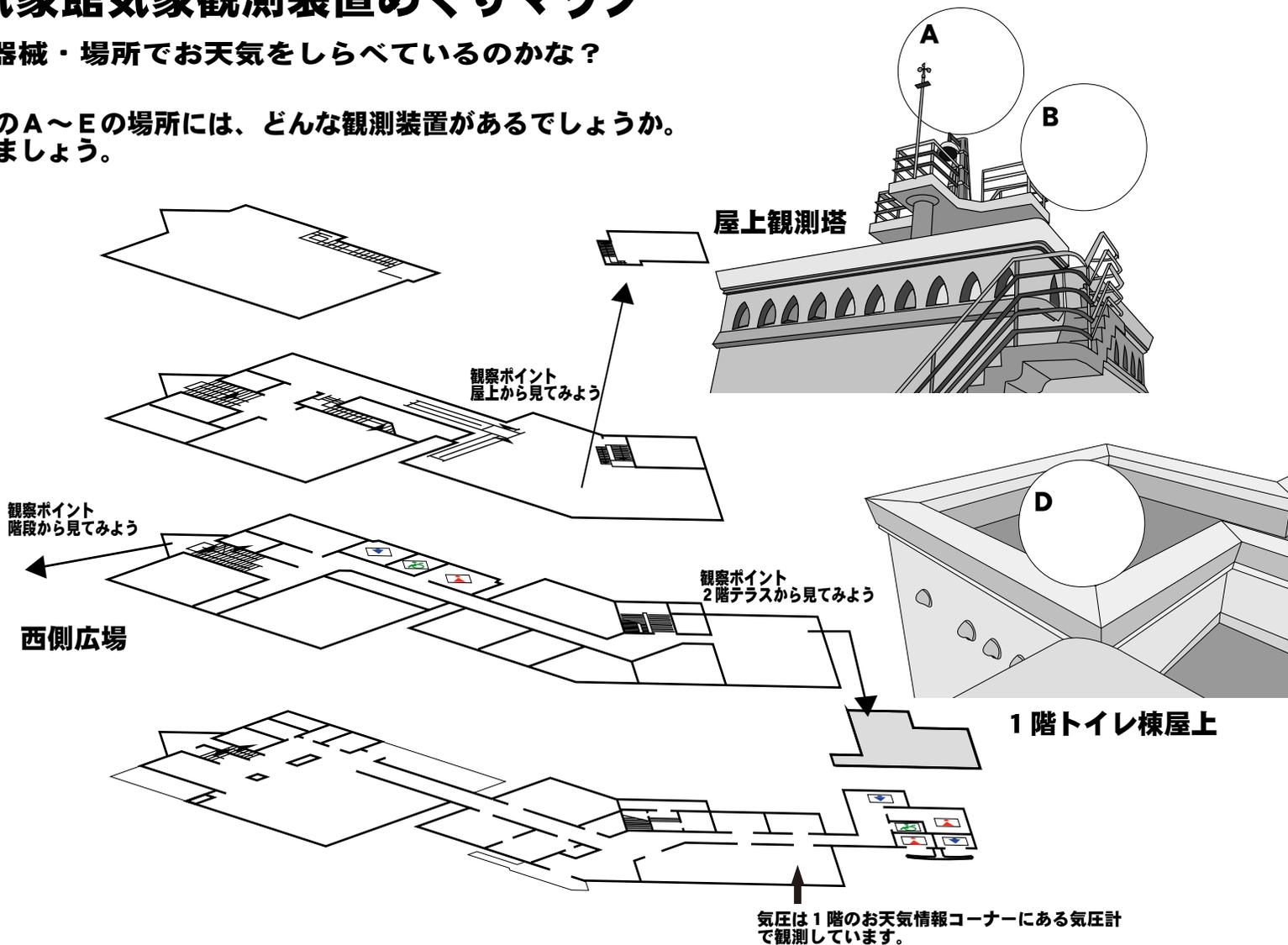
風向風速計



湿度計 温度計



雨量計



問題2 つぎのア～オは、A～Dのどこの説明でしょうか。()のなかにA～Dの記号をかきましょう。

- ア 風があたりにくく、平らで、木や建物のかげにならないところ ()
- イ 太陽の光がよくあたる場所 ()
- ウ 建物や木のかげにならず、地面は砂地やコンクリートではなく草が生えているところ ()
- エ 風がよくあたる場所 ()

江波山気象館学習資料① 気象館で天気予報ができるまで

天気予報をするには、地上で気温や雨の量を調べたり気象レーダーや気象衛星の観測した雲の様子、気象庁が発表する天気図や天気予報をつくるためのいろいろな資料を集めて整理・分析する必要があります。

江波山気象館でも、気象観測をしたり、コンピュータで資料を集めています。集めた資料を使って天気や気温、これから降る雨の量などを予想します。このようにして天気予報をする人のことを「気象予報士」といいます。

